

# 金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37160001
授業科目名(Course name)	芸術学		
担当者(Instructors)	高橋 直史		
開設学部学科(Department)	文学部 音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	262
開講クラス(Class)	音 2	開講形態 (Course format)	講義
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 火曜 5 限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))		履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	56

## ■授業の概要(Course outline)

様々な音楽芸術を中心にし、又それに関係する芸術一般について講義する。  
学生の共通項である音楽芸術を通して、他の芸術との関係性を探る。

## ■到達目標(Course goals)

哲学、倫理学、美学、演奏論などを広汎に学び理解することができる。

## ■履修上の留意点(Important points)

今まで自分の興味がなかった音楽分野でも、最初に壁を作らず一度は接する事。

## ■学位授与方針 (Diploma policy)

### 1. 知識・理解

音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。 ◎

### 2. 汎用的技能

音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。 ○

## ■授業計画(Lesson plan)

- ＜ドイツの歌劇場・オーケストラ＞  
日本・ドイツでの音楽経歴の紹介を通して、半期に渡る授業の内容を紹介する。  
-劇場の構成組織（オペラ・演劇・バレエ・オーケストラ）について  
-音楽部門の仕事、コルペティ（ピアノコーチ）、カペルマイスター（指揮者）について
- ＜音楽劇 (Musiktheater) その1＞  
様々な音楽劇の分野の紹介をする。（オペラ）  
代表的なドイツ・イタリア・フランス・日本のオペラの紹介をする。
- ＜音楽劇 (Musiktheater) その2＞  
様々な音楽劇の分野の紹介をする。（オペレッタ・ミュージカル）  
代表的なドイツ、フランスのオペレッタ、英語圏のミュージカルの紹介をする。
- ＜文学と西洋音楽の関係性＞  
ゲーテやシラーとベートーヴェンの関係等ドイツ文学と西洋音楽の関わりについて講義する。  
ドイツ以外の文学と関わりのある西洋音楽についても紹介、解説する。
- ＜オーケストラ＞  
オーケストラの歴史を音楽でたどると共に、オーケストラの構造も探る。

6. <子供のための音楽の考察>  
「ペーターと狼」、「動物の謝肉祭」などの作品を考察すると共に、小学生、中学生対象のコンサートに何が必要なのか、子供たちに何故今音楽が特に大切なのかを考察する。
7. <日本の文化が西洋の音楽家に与えた影響>  
プッチーニのオペラ「蝶々夫人」やドビュッシーの交響曲「海」など日本の文化が西洋音楽に与えた影響について考察する。
8. <西洋音楽の他のジャンルへの影響>  
この講義では、いわゆる西洋音楽が、例えば映画音楽などの他のジャンルの音楽にどのような影響を与えたのかを考察をする。
9. <世界の音楽>  
この講義では、様々な国の西洋音楽の鑑賞を通して、国ごとの音響・好みを探ると共に、西洋音楽以外の世界の音楽も聞くことを通して、自身の視野を広げる。
10. <日本における西洋音楽の受容から、今後の発展についての考察>  
日本（西洋以外の世界）に西洋音楽が受容され、それがなぜ今まで発展、日本人（世界中）に受け入れられてきたのかを考察する。創始期の日本人演奏家、作曲家の紹介から、現代のドイツ音楽留学までを講義する。
11. <演奏家、教育者>  
様々な演奏家と教育者の共通点、相違点について考察する。  
また演奏家の過去の映像を参考に、その演奏家が何を表現（音楽に限らず、エンターテイナーとしての側面も）しているのか考察する。また、音楽の授業が何故今特に大事なのかも考察する。
12. <外から見た、日本人音楽家の課題>  
西洋音楽の起源の国の言葉・文化から、何を学ぶのか、それをどう自身の音楽の演奏に結びつけていくのかを考察する。  
様々な国の音楽家との交流を通して考察された、西洋音楽を日本人音楽家が演奏・表現するときの課題を講義、議論する。
13. <音楽の役割>  
何故私たちは音楽を必要とするのか、その役割と意味について考察する。  
一例としてヴェルディのオペラ「ナブッコ」や、スメタナの交響詩「我が祖国」等を解説する。
14. <音楽芸術と他の分野の芸術との関わり>  
音楽家と他の芸術家の人間同士の関わり方の逸話を元に、様々な分野の芸術の関係性の考察する。
15. <まとめ>  
14回の講義内容のまとめ。

#### ■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

自身が未知の芸術分野に、メディア、課外活動等を通して積極的に接する事。

#### ■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

芸術に関する小レポートを2回出題する。フィードバックは授業内で行う。

#### ■テキスト・参考書(Textbooks/references)

適宜プリントを配布する。

#### ■評価方法(Evaluation method)

授業参加度 30%

小レポート2回 40%

期末レポート 30%

試験期間内試験の代わりとして、学生自身で選んだ芸術分野のレポートを提出すること。

#### ■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

授業前後の時間。メール等はいつでも受け付ける。